

# 記入見本

様式第1号の3（第4条関係）

## 国分寺市小口事業資金融資事業計画書

\*\*\*年\*\*月\*\*日

国分寺市長 殿

国分寺市小口事業資金融資条例により、創業資金の融資を受けたいので、添付書類として、小口事業資金融資事業計画書を提出します。

個人事業主名をパソコン入力、ハンコ記名した場合は実印をお願いします。手書き（署名）の場合は押印はいりません。

申込者 住所 国分寺市大戸倉7-7-7  
氏名 国分寺 太郎 (※)

(※) 法人の場合は、必ず押印してください。法人以外でも、本人が手書き（署名）しない場合は、記名し押印してください。

開業形態	<input checked="" type="radio"/> 個人・法人	商号・法人名（予定含む）	中華大国分寺
開業の住所	国分寺市西本町8-8-8 西本町ビル1階		
開業（予定）年月日	***年**月**日	電話	042-***-****
業種	飲食業	従業員	3人
事業開始届出書の有無	<input checked="" type="radio"/> 有・無	取扱品	食堂（中華）

### 1 事業内容や創業動機

(1) 事業内容 駅前通りに面した人通りの多い地区で、最大50人までの来店客に対して中華の食事を提供。	(2) 創業の目的と動機 小さい時から飲食店を経営することを目的とし、安価で全てのお客様に納得できる味を提供していきたい。
(3) 創業する事業の経験 高校卒業後、3年間料理の専門学校に通い、同校卒業後は、中国のレストランで5年間働いた。	(4) 強みやセールスポイント 中国のレストランでは料理の基本を徹底的に指導を受け、4年目には副料理長として料理をまかされるようになった。
(5) 補足説明（創業する直前の職業、事前に必要な知識・技術・ノウハウの習得、事業協力者の有無等、及び補足説明したいことを具体的に記入してください） 一口に中華料理といっても、そのジャンルは幅広く、私は特に四川料理が専門です。国分寺を含め、多摩地域には本格的な四川料理を好むお客様も多く、本場の味を生かしながら日本人の好みに合った四川料理をお客様に広く味わってもらい、満足していただくことが目標です。	

### 2 事業の着手状況（下記の該当事項に○印をつけ、確認できる書類等を添付してください。）

ア 設備機械類等は発注済である。

イ 商品・原材料の仕入れを行っている。

ウ 土地・店舗を購入するための頭金等は支払済である。

エ 土地・店舗を賃借するための権利金・敷金等は、支払済である。

オ 事業に必要な許認可等を受けている。

カ 事業に必要な許認可の申請が受理されている。

キ その他(具体的内容:アルバイト2名採用済)

「5 収支計画」欄の **A**、**B** 額と一致するように記入

### 3 販売先・仕入先

主な販売先・受注先	住所	販売・受注予定額	回収方法
一般顧客		年 <b>A</b> 29,200 千円	現金・売掛・手形
中華弁当の龍軒	国分寺市東西町7-8-9	年 <b>A</b> 7,300 千円	現金・ <b>売掛</b> ・手形
		年 千円	現金・売掛・手形
主な仕入先・外注先	住所	仕入・外注予定額	支払方法
**商事(株)	国分寺市南北町1-2-3	年 <b>B</b> 5,500 千円	現金・ <b>買掛</b> ・手形
(有)**	世田谷区新麻布9-8-7	年 <b>B</b> 5,000 千円	<b>現金</b> ・買掛・手形
		年 千円	現金・買掛・手形

### 4 創業時の投資計画 と その調達方法や内容

(金額の確認できる預金通帳の写し,残高証明等を添付してください。)

運転資金は 3~6か月分を目安として 計上してください

創業時の投資計画		金額 (千円)	調達方法・内容		金額 (千円)
設 備 資 金	事業用不動産取得		自 己 資 金	預金	11,000
	敷金・入居保証金	5,100		預金以外 国債	5,500
	改装費	6,500	借 入 金	本件借入金	5,000
	機械器具・什器備品等	2,300		その他の借入金 △◇信用金庫借入	3,500
	①設備資金合計	13,900			
運 転 資 金	商品・材料の仕入資金	2,000			
	人件費・賃金等	6,000			
	その他の資金	3,100	その他の資金		
	②運転資金合計	11,100			
<b>合計 (①+②) = ③</b>		25,000	<b>合計 = ④</b>		25,000

家賃, 光熱費, 広告宣伝費等上記以外の運転資金はこの欄に記入

**③と④が一致すること。**

「3 販売先・仕入先」欄の **A**、**B** 額と一致するように記入

5 収支計画（売上発生後1年分）

支出		収入	
②売上原価 (仕入額,製造原価等)	<b>B</b> 10,500 千円	売上高	<b>A</b> 36,500 千円
③ 人件費	16,800	雑収入	
販売管理費			
地代家賃	3,600		
光熱費	1,200		
営業費	1,800		
減価償却費	750		
支払利息	210		
その他	840		
合計 ③	25,200		
営業利益 (①-②-③)	800		
合計 ④	36,500 千円	合計 ①	36,500 千円

個人事業主分の人件費は含めません

借入金×年利率で算出

上記以外の経費はその他に計上してください

**①と④が一致すること。**

※以下の項目は、**創業前の場合のみ**ご記入ください。

6 自己資産等算定表（金額の確認できる預金通帳の写し,残高証明等を添付してください。）

内訳	明細	金額（千円）	
事業に充てるために用意した資産	普通預金	6,000	
	定期預金	5,000	
	有価証券	5,500	
	敷金・入居保証金		
	資本金・出資金に充てる資金		
	当該事業用設備		
	その他資産（不動産を除く）		
合計①		16,500	
借入金等	住宅ローン	年間返済額の2年分	6,000
	設備導入のための長期借入金	年間返済額の2年分	
	その他借入金	借入額の全額	3,500
	合計②		9,500
自己資金額（① - ②）		7,000	

本件以外の借入金額を記入

創業前申請の場合、自己資金額が借入限度額となります

※自己資産額等については、信用保証機関等において再計算します。